

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年4月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100243
法人名	社会福祉法人 真奉会
事業所名	グループホームあもり
所在地	鹿児島県霧島市隼人町内2075番地2 (電話) 0995-43-8700
自己評価作成日	令和6年2月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和6年3月22日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当法人は福祉事業を展開しており、隣接した場所に障害者支援事業のサービスがある。当事業所は霧島市の旧隼人町と旧溝辺町の境に近い場所にある。遠くに霧島連山を仰ぐ景色の良い場所にある。また、鹿児島空港や嘉例川駅等の観光地、温泉地にもほど近い。事業所の理念として「ありのままのあなたを大切にします」と掲げており、日々利用者様が自分らしく、家庭的な雰囲気の中で穏やかに過ごせるように職員一人一人が意識して支援に取り組んでいます。また、特定技能生2名の方も日々業務を行いながら、日本語試験の勉強や介護技術の向上を図っています。夜勤業務も問題なく行っており、主力として大いに貢献して頂いています。さらに昨年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行した事で、制限されていたイベント等も少しずつもとに戻りつつあります。大きなイベントはまだ行えていませんが、敬老会やお花見等施設内でも季節を感じる事が出来るイベントを職員で考え開催しています。面会室を活用し、ご家族と過ごせる時間を楽しみにされている方もいます。ここ数年感染症の影響で、制限を余儀なくされていましたが、少しずつ緩和され年末年始を家族で数年ぶりに過ごせてよかった等のお声も頂き、そのような言葉が私たち職員にとっても日々の励みになっています。若い世代の職員も入職されており、より明るい職場となっています。入居者の方のそれまでの生活を大切にしながらその人らしく生活を営んでいけるよう職員一同努めている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、霧島市隼人町の県道473号の崎森隼人線沿いの自然豊かな地区に平成18年に開設されている。同一敷地には法人系列の障害者の通所サービス事業所があり、利用者との交流や情報の共有等を通して協力体制が構築されている。近くには法人所有の山林があり、利用者はみかん狩り、柿ちぎり、つわ・つくし・よもぎ等を採取する等、自然に触れることにより四季を感じながら過ごしている。

「ありのままのあなたを大切にします」という理念の下に、地域や馴染みの方と共に、良い人間関係の中で自分らしく楽しく過ごせるように、本人の思いを大切に支援に取り組んでいる。管理者は、霧島市の認知症カフェに参加したり、民生委員によるホームの見学等に対応し、地域の情報を把握しながら地域貢献にも努めている。

管理者および職員は、日頃から挨拶や感謝の言葉かけに努め、良好な人間関係を築いており、障害者や外国人の雇用に対するサポート体制も整備されている。管理者は職員と何でも言い合える関係づくりに努めており、意見や提案等も積極的に出されて、職員の意欲向上に繋がるような職場環境づくりに取り組んでいる。

家族等との面会は和室で実施しているが、法人が面会室を作り、静かに落ち着いて面会できる環境が整備されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「ありのままのあなたを大切にします」を理念に掲げ、入職時やミーティング等で都度確認を行い、日々の業務の中でも意識して取り組もうとしている。	法人の理念と共にホームの理念を玄関・事務室・キッチン・リビングに掲示し、申し送りや全体ミーティングで振り返りを行って意義の理解を深め、意識付けを図っている。利用者の思いを大切に傾聴・オウム返し等で行動の肯定に努め、質問や助言を通して行動の修正に繋がることを意識して支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	日常的に交流を図る事は出来なかったが、今後は防災訓練等への参加の呼びかけや地域のイベントにも参加していきたいとおもう。	自治会には加入していないが、近隣の散歩時に住民と挨拶を交わしたり、野菜を頂くなどの関係を築いている。放課後デイ、保育所の子供達との交流、隣接障害者施設の利用者と共に鬼火焚きを行うなど、地域との交流に努めている。管理者は、霧島市の認知症カフェに参加しており、地域の情報を把握しながら地域貢献にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議も書面開催から集合開催を行っている。地域の窓口相談としても今後はより活用していきたいと思う。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	集合開催で地域の方やご家族にも参加してもらいその中で出た意見等サービス提供に活かす努力をしている。	会議は家族代表、自治会長、民生委員、行政職員等が参加して2か月毎に開催している。参加者への案内には意見書を同封して返信してもらい、会議が円滑に運営されるように工夫している。入居者やホームの現状、ヒヤリハット等について報告して意見を頂き、職員間でも共有して改善に努めるなど、具体的に日々のケアやサービスの向上に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃から電話連絡や文書等で連携を図っている。	市役所の本所・支所の職員とは電話・メール・Fax・窓口へ出向くなど、日頃から協力関係を築いている。地域包括支援センターとは空室状況の情報提供を行い、生活保護や社協による金銭管理等が必要な利用者に関する連携等にも努めている。研修会は法人主催のものが多く、2か月毎に行われて議事録の回覧等により職員間での共有を図り、ケアに反映できるように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月毎に身体拘束委員会を開催している。普段から身体拘束になっていないか意識しながら取り組んでいる。	「身体的拘束等の適正化のための指針」を整備し、計画的な研修の実施や、特にスピーチロックに関しては、事例検討を通して全体ミーティング等で振り返りや意見交換を行って認識を共有している。適正化のための委員会を3か月毎に開催し、「虐待防止チェックシート」への記入結果を活用しながら玄関の施錠は夜間のみとし、外出を希望する利用者には見守りや声かけ・散歩に同行するなどして気持ちの安定を図り、自由な暮らしの支援に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についてのアンケート等を実施し振り返りを行い防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業を利用している方がいる。制度に関しては、職員全員が理解出来るよう勉強会等行っていきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧に説明を行い、質問や疑問等についてはその都度対応を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の方とはこまめに連絡を取り合って状況報告や相談事等対応を行っている。	利用者の思いや要望等は、日頃の会話・表情・仕草等で把握に努め、家族からは面会・電話・手紙・ライン等を通して相談や意見等を気軽に述べてもらえるように工夫している。頂いた意見等は職員間で話し合い、検討して返答し、サービスの向上に繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議やミーティング等を通じて職員の意見や提案を受け、取り入れる工夫を行っている。また、時間を作り職員からの要望等にも都度対応を行っている。	職員間の人間関係は良好で、日頃から挨拶や感謝の言葉かけに努め、障害者や外国人の雇用に対するサポート体制も整備されている。個人面談や管理者が直接相談を受けるなど、何でも言い合える関係づくりに努めており、希望休・有給休暇の取得、勤務交替、研修受講に対する法人からのバックアップ、資格手当の支給等にも対応して、職員の意欲向上に繋がるような職場環境づくりに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を取り入れている。目標達成に向けた取り組み等一緒に考えたり、困っている事や悩み事はないか等も話している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月動画での研修と意見交換を行っている。今後は外部講師を招き実践的な研修も取り入れていきたい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業者連合会に加入している。また、定期的に行われているケアマネ勉強会にも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	まずは入居するご本人に逢う事を意識している。情報提供書だけではなく、直接お会いし不安に思っている事等傾聴している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	関係機関とも連携を図り、家族の困り感や不安な事等について対応している。初期段階は特に注視している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	体験等を行い施設になじめそうか確認を行いながらニーズの把握も行う。そのうえで必要とするか、その他のサービスの方が望ましいか考え家族とも話を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	様々な場面においてしっかりと確認・同意を求め、本人の意思や気持ちを大切にするケアに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会室を活用しながら家族との時間を過ごして頂いている。その際職員とも色々な話を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	関係機関とも連携を図っている。思い出の場所やお墓参り等ご家族の協力を得て取り組んでいる。	家族・知人・友人との面会は電話で予約していつでも可能であり、2人まで和室で実施している。家族との受診・外出・買い物・墓参り等を楽しみ、電話や手紙の取り次ぎ、携帯電話での会話、2か月毎の訪問美容、新聞・雑誌等の読書、趣味の踊りをされるなど、家族の協力をもらいながら、これまでの繋がりや馴染みの関係が途切れないような支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日中はほとんどの方が共有スペースで過ごされている。利用者間関係性にも気を付けて席の配置換え等も都度対応を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等で契約終了となった際は、その後の経過等電話等で経過を確認する事もある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントだけでは分からない部分もある為、ご家族や関係機関等と連携を図っている。また本人の気持ちや思いを汲み取るよう心掛けている。	利用者についての情報を得るために、アセスメント用のききとりシートを活用しており、日頃の会話や表情・仕草等からも思いを汲み取るように努めている。命令的な声かけとならないように配慮し、選択肢を提示した働きかけを行って、本人の視点に立ったケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や本人の趣味嗜好について本人や家族へ確認をしながら今までと変わらない暮らしを提供できるよう取り組んでいる。以前利用されたサービスへの確認も行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自宅での様子や施設での様子等こまめに確認を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族との話を行い、職員からもケア方法等聞いている。チーム支援が行えるよう取り組んでいる。	本人及び家族の思いや意向を把握し、訪問診療時の主治医の指示、訪問看護・訪問歯科・薬剤師等からの意見、職員間の情報等を基に、モニタリングを3か月～6か月毎に実施して、6か月～1年毎に介護計画を作成している。利用者の楽しみごと(歌や踊り等)についても計画に反映させ、サービス担当者会議には本人や家族も出席して、本人が望む暮らしの実現に向けて検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中の様子や夜間の様子などしっかりと記録に残している。また、日誌や申し送りノート等も活用しながら情報共有にも努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の生活リズムやその人のペースに合わせたケアに取り組んでいる。また、隣接している事業所の行事へも参加している。敬老会等は同法人内の児童事業の方々も参加されている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問看護や訪問散髪等取り入れている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診や他医療機関の受診等のご家族の協力も得られている。普段からこまめに連携を図っている。	本人及び家族が希望する医療機関での受診を支援しており、協力医療機関では月2回の訪問診療、受診など利用者毎の必要性に応じて支援している。訪問歯科診療は希望があれば受けることができ、皮膚科・眼科等の専門医受診は家族と協力しながら支援している。夜間は24時間連携体制となっている医療機関もあるが、救急対応を基本とする医療機関もあり、ホームの看護師を中心に連携を図りながら適切な医療を受けられるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>バイタルチェックはもちろんであるが、普段から異変はないか意識して取り組んでいる。普段と違う事があれば医療機関へ相談し受診を行う等の連携も図れている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>電話や文書等で普段から関係構築に努めている。往診時等もしっかりと診てもらい日々の健康状態の維持を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に意思確認を行っているが、変化があった際は都度家族の意向と本人の意向を聞いている。本人・家族を含めて主治医と話をし対応している。</p>	<p>重度化した場合及び看取りにおける指針を整備し、意思確認も行いながら、「重度化した場合の介護についての同意書」について説明し、同意を得ている。家族の思いの変化や利用者の状況に応じて、可能な限り本人や家族の意向に沿った支援に努めており、ホームでの看取りを実施している。訪問看護と連携を図り、看取り後は振り返りや意見交換を行って、スキルアップや不安の軽減に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルはあるが、マニュアルだけに捉われず、実践的な訓練や勉強会等開催していきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練や火災訓練を行っている。自施設だけではなく、今後は地域との方への協力ももらいながら合同訓練等も取り入れていきたい。</p>	<p>BCP計画は法人において作成中であり、消防署の立ち会い1回を含めて年2回、夜間想定の下に火災訓練を実施している。地域住民への呼びかけは行っているが協力は難しく、職員へは電話やLINEによる連絡体制が整備されている。今後は霧島市の見守りアプリへの登録を検討している。備蓄は、米・水・レトルト食品・缶詰等を3日分程度確保し、ヘルメット・防火頭巾・懐中電灯等も準備して、防災対策に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ミーティングや研修等を通じて言葉遣いやプライバシー保護に気を付けている。	「個人情報保護規定」をはじめ、倫理規定、利用者権利・倫理綱領等を整備し、機関誌やホームページへの掲載等についての同意も得ている。トイレ誘導、入浴介助、居室への入室、名字での呼称等のプライバシーに配慮した支援に努めている。衣服の選択では自己決定を尊重し、居室の名前表示はせずに見守りや声かけにより支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段からたくさんコミュニケーションを図っている。本人の趣味嗜好を確認しながら様々な活動に参加し選択の機会を設けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	就寝時間や起床時間は本人のペースに合わせて対応を行っている。食事量や水分量等もその方に合わせた取り組みを行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問散髪を提供している。また、起床後の洗面時も髪を櫛でといたりひげを剃るなど身だしなみにも気を付けている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食等普段とは違う食事の提供にも力を入れている。また、お盆拭き等出来る方へは協力をもらい一緒に行っている。	台所にある食材を用いて当日にメニューを決定し、週4～5日は調理担当職員が昼食と夕食を作り、他は職員が交替で調理している。利用者は下拵え等を一緒に手伝っている。行事食、誕生日会、手作りおやつ、バーベキュー、すいか割り、そうめん流し、ウッドデッキでのお茶会等、食べる楽しみを大切に支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取量等しっかり確認を行っている。飲料水については本人の飲みなれてきた物や好きな飲み物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。歯科往診も取り入れている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	出来るだけトイレへの誘導を行っている。夜間や本人の状態に合わせてオムツ使用も行っている。	利用者の心身の状況を把握し、排泄チェック表により利用者毎の排泄リズムを考慮して、日中は可能な限りトイレでの排泄を支援している。トイレ誘導の際には近寄って小さな声で、また尿意のない方には時間を見て誘導するように努めている。便秘薬を使用している利用者もあり、牛乳・バナナ等の摂取、体操、散歩等に配慮して、個々に合わせた排泄の支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を確認している。なるべく便秘にならない様、食事面では排泄を促す食べ物や、体を動かす活動等も取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回入浴を行っているが、必要に応じて足浴やシャワー浴を行っている。入浴剤の使用等ゆったり入れる工夫も行っている。	入浴は、週2～3回、主に午前中に個室で支援している。排泄等による汚染に対しては、シャワー浴や清拭等の衛生面に配慮して柔軟に対応している。利用者の意向に沿って同性介助にも対応し、入浴をためらう利用者には時間の変更や声かけのタイミング等を工夫して、気持ちよく入浴できるように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないように、本人に合わせた昼寝の時間等確保している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報の確認と服薬セットは看護師が対応している。服薬の際は職員2人以上での確認と、本人に名前・日付確認で再度確認してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩やラジオ体操等積極的に参加している。花の植え替え等も取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コスモス見学や花見等季節感を感じる事が出来るようドライブに行ったりしている。また、ご家族との外出や墓参り等制限もあまりかけず家族との時間を大切に出来るよう取り組んでいる。	近隣の散歩や近くの公園まで出かけた後、コスモス見学、初詣、少人数でのドライブ、家族との受診や外出など、利用者の状況に応じた外出支援を行っている。園庭では桜の花見、花の水やり等の管理も行い、近くの法人所有の山林でみかん狩り、柿ちぎり、つわ・つくし・よもぎ等を採取する等、自然に触れて楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が難しい方が多いため現在は金銭の管理は行わず家族にて対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙や電話の要望があれば都度対応行っている。家族からの電話も取次対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	同法人内で作成された壁画を飾り、季節感を感じてもらえるよう取り組んでいる。共有の空間についても、しっかりと動線を確保し妨げにならないよう気を付けている。	明るく、窓の多い広々としたホールには、職員と共に利用者がゆったりと過ごす風景があり、対面キッチン、畳スペース、ウッドデッキが設けられて、居心地よく過ごせるように工夫されている。ホールにはロフトがあり、手指消毒用品や災害用品の保管場所として活用されている。テレビ、ソファ、空気清浄機、加湿器等が配置され、生花や利用者の作品等が飾られて、利用者は好みの場所でゆっくりと寛いで過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者一人一人が穏やかに過ごせるようソファの位置や和室の利用等も促している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の愛用していた物や家族との思い出の写真等、居心地のよい居室環境を提供している。	居室はフローリングの腰高窓仕様で、エアコン、ベッド、タンスが備えられている。入口の表札はなく、番号表示とドアの色が異なっていることで利用者には自室がわかりやすく配慮されている。これまで馴染みとなっていた寝具、テレビ、ラジオ、写真等を持ち込み、家庭的な雰囲気の中で憩える環境となるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や共有部分は、動線を確保し障害物となりうるものは取り除いている。なるべく残存機能を活かし自立した生活が送れるよう取り組んでいる。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない